

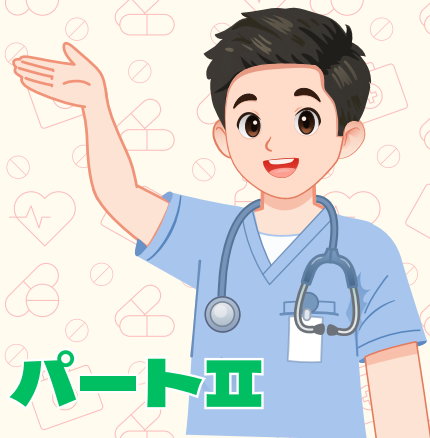
参加
無料

定員80名

R8年度 第2回 鶴岡まるっと地域医療

いのちの現場で働く人の声に出会う1年

つるおかの 医療者物語 パートⅡ



病院から住み慣れた地域へ～在宅医療につなぐ「バトンパス」のリアル～

11月9日

月曜日

18:30～20:30

鶴岡市総合保健福祉センター
「にこふる」3階 大会議室

〒997-0033 山形県鶴岡市泉町5-30

5名の医療者による10分プレゼン＆医療者と来場者との対話の時間

佐々木淑江さん



鶴岡市立荘内病院
医療ソーシャルワーカー
社会福祉士

佐藤静さん



鶴岡協立
リハビリテーション病院
作業療法士

五十嵐大地さん



鶴岡協立病院
在宅看護科
認知症看護認定看護師

菅原真依さん



ハローナース
訪問看護師

矢野梨加さん



介護老人保健施設
みずばしろう
医師



- 18:30～ 開会＆市民サポーター「ツルオカジョン部」のご紹介
- 18:45～ 5名の医療者による10分プレゼン
- 19:35～ 医療者と来場者との対話の時間
- 20:10～ 全体共有
- 20:30 閉会



お申込み方法

- Gooleフォーム（QR）からお申し込みください。
- お電話の場合は080-3144-7527へ
- WEB申込締切り 10月31日（土）

※当日参加可能です。

受付時の名簿には掲載できませんが、当日参加も可能です。

直接会場にお越しいただき、受付担当者に声をかけてください。

主 催 / 鶴岡市

申込はこちら





「鶴岡まるっと地域医療」ってなに？

令和元年～3年に実施した「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」で、3つの市民アクションをまとめました。その市民アクションを実践するために市民が地域医療を知り一緒に考える場として「鶴岡市地域医療市民勉強会」を実施することになりました。鶴岡市地域医療市民勉強会の名称が「鶴岡まるっと地域医療」です。令和4年から開始し、今年で5年目になりました。

鶴岡市の“地域医療の未来像”に向けた「3つの市民アクション」

地域医療の連携の仕組みを理解しよう

私たちが日ごろから利用している医療や福祉、介護予防やケアについて、その連携の仕組みを理解することで、安心して医療を受けることができます。

自分たちが受けたい医療を考えよう

病気になったことを想定し、病気の基礎知識やその後の暮らし方などを考えることで、自分に合った療養生活を選択できるようになります。

ともに考え、行動する仲間になろう

地域医療に関心を持つ人が集い、交流しながら、地域医療を守るために市民一人ひとりが出来ることを、ともに考え、行動する仲間になろう。

市民・医療者・行政と一緒に学び・考える場を実践します。



どうして地域医療を学ぶの？

鶴岡市では、すべての人が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを安心して続けることができる地域社会の実現に取り組んでいます。

健康で暮らし続けることは、私たちの基本的な願いであり、医療は私たちの生活に密接に関わっています。私たちが自分らしい暮らしを最期まで続けるためには、鶴岡市の医療資源を知ることや自分の健康状態に合わせて医療・介護と上手に付き合うことが大切です。健康なうちに地域の医療資源の情報（役割・強み）を得て、あなたや家族の“備え”にしましょう。

令和4年から座学とワークで学んでいます



高校生も積極的に発言

今すぐ登録

鶴岡まるっと地域医療の専用LINEオープンチャットに登録ください。開催案内をタイムリーに入手できます。



2026/6月現在
登録者数106名



入部者募集



鶴岡まるっと地域医療の参加者が立ち上げた

ツルオカジョン部

真面目に時にはカジュアルに。
一緒に鶴岡市の地域医療を守り育てる活動をしましょう。

詳しくは鶴岡まるっと地域医療でご説明いたします



Instagram

問合せ先



地域と医療がつながる拠点

瀬尾医療連携事務所

株式会社瀬尾医療連携事務所

〒997-0034 鶴岡市本町1-7-45 まちづくりスタジオ鶴岡Dada 3階

メール：info@seojimusho.com